

令和元年度 かながわティーチャーズカレッジ

カレッジ・ニュース



Vol. 3

令和元年9月9日 発行
神奈川県立総合教育センター
かながわティーチャーズカレッジ事務局
(教育人材育成課若手教員育成班)

第3回かながわ教育学講座

令和元年9月8日(日)、総合教育センターにおいて、午前中にチャレンジコースの受講者対象の特別講座1、午後に第3回かながわ教育学講座が開催されました。



講演「コミュニケーション能力の育成」

「コミュニケーション能力の育成」と題し、コアネット教育総合研究所の福本雅俊氏による講義がありました。コミュニケーションの基本だけでなく、教員として子どもたちと関わる際に必要なスキルについて学びました。

受講者にとって印象に残ったのは、学校におけるコミュニケーションは、対教職員、対子ども、対保護者、という日常生活とは違う相手、違うシチュエーションであること。また、その相手、シチュエーションによって望ましいコミュニケーションの形が異なるということでした。改めて、コミュニケーションは双方向であり、日頃から相手の立場や感情を読み取る中で行っていかなければならないと感じました。リーフレット『神奈川県のめざすべき教職員像の実現に向けて』においても「他者を共感的に理解している」ことが【養成期】のコミュニケーション能力として求められています。ぜひテキストとして配付した『生徒の自己理解を促す共感的な対話』を読み返してみてください。



コアネット教育総合研究所
福本 雅俊 氏



【講座のポイント】

■教員の児童・生徒に対する関わり方

- ①ティーチング
- ②メンタリング
- ③コーチング

■代表的なコーチングスキル

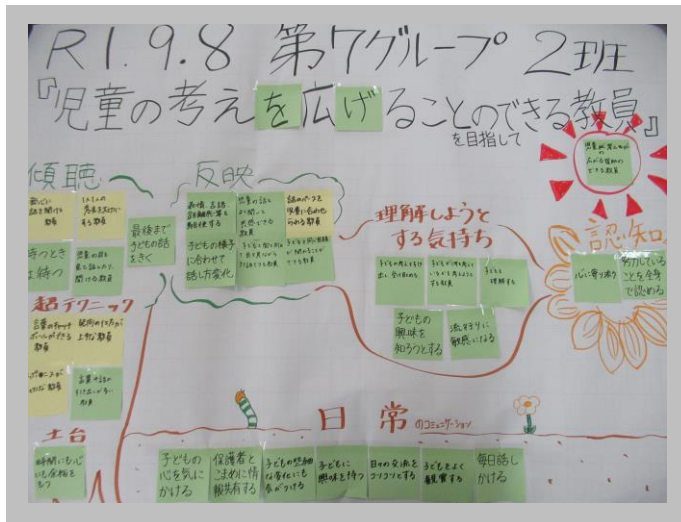
- ①傾聴
- ②拡大質問と限定質問
- ③反映
- ④認知

グループ活動



前半の講義の内容を踏まえ、「児童・生徒のコミュニケーションにおいて、教員として大切なことを考える。」をねらいとして、グループ活動を行いました。

回数を重ねるたびに模造紙のまとめ方、発表の仕方が上達し、皆さんの成長を実感しました。かながわ教育学講座の受付時に前回作成した模造紙をいくつか展示していますので、ぜひ御覧ください。



PDCAサイクルがイラストで効果的に描かれ、「学び続ける教員」をよく表しています。

土台の部分とそこに上積みされる部分に分かりやすくイラストでまとめられています。



インパクトのあるイラストとそれに関連付けられた分類がユニークです。

「観察→傾聴→引き出し→観察…」のサイクルが印象的です。イラストも効果的です。

